

補助金等成果報告書

補助金等名	別府駅観光案内所運営事業補助金		
団体等名	一般社団法人別府市観光協会		
事業費	15,273,814円	補助金額	11,542,000円

事業の内容	<p>《主な事業内容》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 観光案内業務 2. 宿泊斡旋 3. 観光バスチケット等の販売 4. 各種グッズ販売 5. 旅行会社等から依頼を受けるバウチャーチケットの交換 6. 別府八湯温泉道初級認定 7. 各種研修への参加 		
成果目標	<p>新型コロナウイルス感染症の中、今年3月の卒業旅行シーズンには、コロナ前に匹敵するほどの来所があった。</p> <p>また、国・県の動向を注視しながらになるが、今後はアフター（ウィズ）コロナ対策により、GOTOの再開等、旅行に注力されると考えられるため、訪れた観光客の旅の最初の窓口として、適切な観光案内を行い、快適な旅を満喫しできるように、お客様ひとりひとりに懇切丁寧な案内を心掛ける。</p>		
事業効果	<p>JR別府駅構内において、観光案内、バスチケット・各種グッズ販売、宿泊斡旋を行った。</p> <p>また、温泉道初級編の認定作業や事務局休業日に段位認定の預りを年中無休の案内所で行うことで、温泉道参加者の利便性を高めた。</p> <p>観光案内、バスチケット販売は、大分県が実施している「新しいおおいの旅割」事業の「満喫クーポン」（大分県内地域クーポン）取扱い店舗として参画していたこともあり、多くの観光客が訪れた。</p> <p>但し、日本人と外国人を区別せずに案内が出来る様にするため、B-biz LINKが運営するワンダーコンパスに案内業務が一本化することとなり、令和5年3月末に閉鎖した。</p> <p>【営業時間】 8時30分～17時30分 年中無休</p> <p>【職員数】 3名 常時2名体制</p> <p>■来所実績 年間85,957人（246人／1日） 前年度50,843人</p> <p>■前年比 169%</p>		
自己評価等	事業は計画どおりできましたか	<p>1 できた <u>2 概ねできた</u></p> <p>3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p>	
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	<p>1 できた <u>2 概ねできた</u></p> <p>3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p>	
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	<p>観光客が前年比より約70%増えた状況下で、職員3名でできる限りのおもてなしを尽くした。今後の別府観光につながったと思う。</p>	

補助金等成果報告書

補助金等名	別府市観光協会運営事業補助金		
団体等名	一般社団法人別府市観光協会		
事業費	38,455,657円	補助金額	29,880,000円

事業の内容	<p>《主な事業内容》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. まつり・イベント事務局支援 <ul style="list-style-type: none"> ・別府八湯温泉まつり ・べっふ鶴見岳一気登山大会 ・べっふ火の海まつり ・べっふクリスマスファンタジア 2. 観光客や市民からの問い合わせ、要望、クレームへの対応。 3. 観光客の問い合わせに応じ、各種観光パンフレット等の資料発送。 4. 別府市の主催行事への参画、他団体の主催イベントへの助成 5. その他事業実施のための事務局運営。 <ul style="list-style-type: none"> ・別府駅観光案内所・別府八湯温泉道・観光ボランティアガイド育成事業 ・ミス別府選考会・油屋熊八翁顕彰会
-------	---

成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県の旅行動向を注視し、アフター（ウィズ）コロナに観光客を呼び込むため、各事業を運営する。 ・事務局支援の4つのまつりについては、新型コロナウイルス感染症拡大に注視し感染対策を講じ、通常開催を目指す。 ・訪れたお客様が快適な旅を満できるように、お客様一人一人に懇切丁寧な案内を心掛ける。
事業効果	<p>令和4年度は、令和3年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大が続いていたため、事業の縮小や日程の変更をせざるを得なかった。</p> <p>別府市の観光動態速報値によると、秋以降はコロナによる感染症の制限が和らいだこともあり、前年度よりは宿泊客数、観光施設入場者、交通機関の利用者のいずれも増加したが、コロナ以前の水準までには、まだ回復していない。</p> <p>当協会としては、国内の動向に注視しながら可能な範囲で誘客事業や、まつり・イベント、情報発信等に努めたが、コロナの感染状況の予測が出来ないこともあって事前の準備が出来ない等、積極的な観光施策を進めることが出来なかった。</p> <p>コロナの感染は継続しているが、蔓延防止等重点措置が解除されたことで、令和4年の3月以降は、徐々に観光客も増え始め、令和4年度に入ってから温泉まつりや、鶴見岳一気登山大会は、規模や参加人数を制限、日程の変更行う中で事業実施が出来、少しずつではあるが街に活気も戻りつつあると感じるようになってきている。</p> <p>観光が主幹産業の街である別府市に、コロナ前の賑わいを超えるようなお客様に来ていただけるよう、また住民の皆様楽しんでいただけるよう、今後も観光関連事業者と連携し、各種事業に取り組んでいきたいと考えている。</p>

自己評価等	事業は計画どおりできましたか	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	R5年度に入りコロナがインフルエンザと同等の分類になり、これからの別府観光を市、ビービズリンクとともにそれぞれ役割を確認し、効果的な事業運営を行っていきたい。

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。

補助金等成果報告書

補助金等名	誘客推進事業補助金		
団体等名	一般社団法人 別府市観光協会		
事業費	15,010,372円	補助金額	13,878,000円

事業の内容	今年度は新型コロナウイルス感染症による影響も段階的に薄まっていき、GOTO トラベルに代わる全国旅行支援の開始や全国的な大型イベントの開催などコロナ前の日常が戻りつつある一年であった。事業全体を通して県外での誘客キャンペーンイベントの開催や県内外のイベントへの出展などコロナ禍以前のような事業運営ができた。
-------	---

成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ならではの体験コンテンツの創出 学分野と連携し、地域の歴史・文化などを体験商品化することでココでしか味わえないコトを創出する。 ・広報関連 タウン情報誌と共同で製作する冊子「ぐるめっふ」を発行し、別府グルメの発信を行う。広告出稿に関しては情報誌等様々な媒体を活用し、別府の観光情報を発信する。 ・駅前イルミネーション業務 クリスマスシーズンに別府駅前通りをイルミネーションで彩り、街中に賑わいを創出する。
------	---

事業効果	「旅×学び」のコンセプトのもと「色とりどりの温泉みやげ」と題して、無色透明の温泉が、ある液体を入れるとそのPH値によって色が変わり、その温泉をウォーターゲームにして持って帰ってもらうという子ども向けサイエンス企画を行った。これは豊富なPH値や泉質を有する別府ならではの実験で、温泉の違いを見える化できる体験商品となる可能性を感じた。
------	--

自己評価等	事業は計画どおりできましたか	1 できた 3 あまりできなかった	② 概ねできた 4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	1 できた 3 あまりできなかった	② 概ねできた 4 ほとんどできなかった
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等		

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。

補助金等成果報告書

補助金等名	別府八湯温泉まつり事業補助金		
団体等名	別府八湯温泉まつり実行委員会		
事業費	13,923,320円	補助金額	16,683,000円 (次年度精算予定)

事業 の 内 容	<p>(実施した事業内容を記入してください。)</p> <p>令和4年度は、引き続きコロナ禍の開催となるため、来場される方へは基本的な感染対策をお願いし、来場できない方へオンライン配信を行うハイブリッド形式でまつりを実施する。</p> <p>【主な行事内容】</p> <p><input type="checkbox"/> 神事（開会奉告祭、御神火採火式）</p> <p>4月1日（金）午前8時より、温泉感謝・疫病退散祈念及び扇山火まつり実施に伴う御神火採火式を執り行う。</p> <p><input type="checkbox"/> ラ・フロマンス（免疫力向上月間イベント）</p> <p>温泉道とタイアップした企画を実施。1カ月間、ゆっくりと入浴し温泉のぬくもりと免疫力を高めることを目的とする。8ヶ所入浴する名人編と8ヶ所入浴する初段編の2種類。4月30日は、豪華景品が当たる抽選会を実施する。</p> <p><input type="checkbox"/> 扇山火まつり</p> <p>4月1日（金）午後6時より扇山火まつりを実施。今年度は扇山全景が見えるポイントで撮影した映像と扇山でドローンを使った空撮映像を合わせた温泉まつり公式YouTubeチャンネルにてオンライン配信を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> 海門寺公園会場</p> <p>4月29（金）、30日（土）に海門寺公園にて、地元学生や企業が参加するイベントを実施。また、恒例となった温泉道名人表彰式やミス別府退任式も合わせて行う。</p> <p><input type="checkbox"/> 駅前イベント</p> <p>5月1日（日）に、別府駅前通りを交通規制し、ふれあい踊り、湯けむり総パレード、湯ぶっかけまつりを実施。行事参加者に対しては、基本的な感染対策や行事前後の体調管理、当日の体調等を管理した上で参加するようにお願いします。また、会場になる駅前通りには消毒ポイントを設置し、参加者だけでなく、観覧者も対策できるようにする。合わせて、場内アナウンスで感染対策を呼び掛ける。</p>
-------------------	--

成果 目標	<p>(「成果目標設定書」の内容を記入してください。)</p> <p>令和4年度事業は、感染対策のため、積極的に観客を集めることを目的としないため、成果目標は設定しない。</p> <p>事業終了後、現地での参加者数とオンライン視聴数を報告する。</p>
----------	--

事業 効果	<p>(事業実施の結果、どのような成果や効果があったかを記入してください。)</p> <p>1. 配信数 10,180回</p> <p>【内訳】</p> <p>①ふれあい踊り429回 ②湯けむり総パレード580回</p> <p>③湯ぶっかけまつり1,822回 ④扇山火まつり7,349回</p> <p>2. 来場者数 92,000人</p> <p>【内訳】</p> <p>①扇山火まつり75,000人 ②各地域2,000人 ③駅前通り15,000人</p>
----------	--

自己 評価 等	事業は計画どおりできましたか	1 できた 2 <u>概ねできた</u> 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	1 できた 2 <u>概ねできた</u> 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。

補助金等成果報告書

補助金等名	ボランティアガイド育成事業補助金		
団体等名	一般社団法人別府市観光協会		
事業費	1,075,649 円	補助金額	810,000 円

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「別府八湯ウォーク連絡協議会」の支援 ・別府八湯ウォークパンフレットの制作 ・大分県ふるさとガイド連絡協議会への参加
-------	---

成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間のガイドツアー参加者数 3,000 人を目標としたい。 (前年度参加者 2,274 名) ・ガイド育成講座において新規ガイドを 3 名以上育成する。 (前年度新規ガイド 3 名)
------	--

事業効果	<p>実施回数は 198 回 (昨年 176 回)、前年対比 113% 参加者数は 4,039 名 (昨年 2,767 名)、前年度対比 145% 増加した要因として、新型コロナウイルスによる観光客の減少はあったが旅行商品が増加し実施回数、参加人数共に前年を上回った。また旅行会社へ提案が功を奏し、旅行支援を利用したツアー人気で参加人数を押し上げた。 ガイド募集大会等で参加者から新規ガイドを 3 人獲得した。</p>
------	--

自己評価等	事業は計画どおりできましたか	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	R5 年度は地域に根ざした活動に重きを置き各団体の活性化を図ります。

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。

補助金等成果目標設定書

補助金等名	令和4年度 第34回大会べっふ鶴見岳一気登山大会事業補助金		
団体等名	べっふ鶴見岳一気登山大会実行委員会		
概算事業費	4,881,000円	補助申請額	405,000円

事業の目的	<p>(社会的背景、課題等を踏まえて記入してください)</p> <p>青い海と緑豊かな山々に囲まれた別府の素晴らしい自然景観の中、「海拔0mから1,375mまで幹線自動車道を利用せずに踏破する健康登山大会」を開催し、この登山道を中心とした自然環境の保全に努めるとともに、魅力ある別府の観光資源を発信し、国内外から別府市への集客を図ることを目的とする。</p>
事業の概要	<p>1. 開催日時 令和4年5月15日(日) 9:00~17:30</p> <p>2. 参加コース スパビーチから鶴見岳山頂(海拔 0m~1375m)</p> <p>①いだてん天狗タイムレース 定員最大200名(参加料5,500円)</p> <p>②のびのびさくらウォーク 定員最大600名(参加料2,500円、小学生以下1,250円)</p> <p>③GO!GO!GO!ハーフウォーク 定員最大1,000名(参加料1,500円 小学生以下750円)</p>
事業実施期間	令和4年4月1日 ~ 令和4年9月30日

成果目標	<p>1. 目標参加者数 1,600名</p>
------	-----------------------------

補助金等成果報告書

補助金等名	令和4年度 第34回大会べっふ鶴見岳一気登山大会事業補助金		
団体等名	べっふ鶴見岳一気登山大会実行委員会		
事業費	4,881,000円	補助金額	405,000円

事業の内容	(実施した事業内容を記入してください。)
	1. 開催日程 令和4年5月15日(日) 2. 参加コース スパビーチから鶴見岳山頂(海拔 0m~1375m) ①いだてん天狗タイムレース ②のびのびさくらウォーク ③GO!GO!GO! ハーフウォーク

成果目標	目標参加者数 1,600名
------	---------------

事業効果	①申込者目標1,600名に対して、1,593名と概ね目標数通りの結果となった。 別府市外からの参加者が1,089名あり、一人当たり約3,700円の消費活動を行ったと仮定すると別府市に約4,029,300円の経済効果を生んでいると考えられる。また宿泊を伴う参加者が142名あり、1人あたりの宿泊費を約26,000円と仮定した場合、約3,692,000円の経済効果を生んでいるものと考えられる。 ※1人当たりの消費額(日帰り、宿泊共)は「令和3年度別府市観光動態」から引用。
------	---

自己評価等	事業は計画どおりできましたか	①できた 3 あまりできなかった	2 概ねできた 4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	①できた 3 あまりできなかった	2 概ねできた 4 ほとんどできなかった
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	引き続き当大会を通して別府の自然を活かした観光客誘致に努めていきたい。	

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。

補助金等成果報告書

補助金等名	令和4年度べっふ火の海まつり		
団体等名	べっふ火の海まつり実行委員会		
事業費	23,315,910円	補助金額	12,050,000円

事業の内容	(実施した事業内容を記入してください。)
	1. 別府駅熊八ガーデン
	2. べっふ夜市
	3. 火の海フードフェス
	4. 納涼音頭大会
	5. 納涼花火大会

(「成果目標設定書」の内容を記入してください。)

1. 目標概要

コロナ前までのスパビーチの来場者密度がすでに限界であったことに加え、コロナ対策として会場を分散化しそれぞれの会場に来場者を留めることにより、1ヶ所に人が集中しないように各会場の集客状況を把握し、今後のまつり運営に活かす。

また、会場毎の営業時間や出店内容を変え、それぞれ特色を出すことにより留まる客層を分けて滞留させることにより、1つの会場に集中させない。

さらに、花火は全会場から見えるように台船位置を工夫し、メイン会場を有料の北浜緑地帯と無料のスパビーチに分けることにより、来場者の集中回避、安全確保に努める。

2. 感染対策目標

(1) 会場分散化

感染対策の一環として、会場を分散しそれぞれ特色ある出店やイベントの実施、花火観覧ができるように企画し、各会場に来場者を留まらせる。

(2) 基本的な感染対策

各会場にマスク着用、手指消毒など基本的な感染対策を行うよう周知する看板の設置、場内アナウンスを行う。

(3) 設備消毒等

着座での長時間滞在を避けるため、会場内のテーブルを立ち飲みスタイルに変更。また、消毒スタッフを配置し、常に消毒をする。

3. 来場者数

会場を分散化し、各会場に来場者を留めるように企画する。各会場の動員数は以下のとおりとする。

(1) 前年度実績

0人 ※サプライズ花火として打上場所を非公開としたため

(2) 今年度目標

110,000人 ※印は2日間合計

①別府駅熊八ガーデン 1,000人※

②べっふ夜市 32,000人※

③火の海フードフェス 22,000人※

④納涼音頭大会 5,000人

⑤納涼花火大会 50,000人

4. 花火打上げ発数

(1) 前年度実績

1,875発 (75発×5ヶ所×5週間)

※1カ所75発の届出花火を5ヶ所から11月20日から12月18日までの5週にわたり実施。

(2) 今年度打上発数

5,000発 ※コロナ前と同等

事業効果	<p>(事業実施の結果、どのような成果や効果があったかを記入してください。)</p> <p>コロナ禍でのイベントの在り方として、来場者へ基本的な感染対策の徹底をお願いするとともに、会場を分散しそれぞれの会場に特色を持たせることで来場者を分散することができた。</p> <p>また、スタッフにはチェックシートや当日の体温チェック、ステージイベント出演者はそれに加えて抗原検査を行う等、対策を講じた。</p> <p>コロナ禍ではあったが、夏休み最初のイベントとし約13万人の来場者を迎えることができたが、来場によるクラスターなど感染拡大もなかったことから、コロナ禍のイベントの運営として一定の成功を得ることができた。</p> <p>■来場者実績 133,400人 ※印は2日間合計</p> <p>①別府駅熊八ガーデン 2,200人※</p> <p>②べっぷ夜市 34,000人※</p> <p>③火の海フードフェス 25,000人※</p> <p>④納涼音頭大会 0人 ※中止</p> <p>⑤納涼花火大会 30,000人</p> <p>⑥有料観覧席 2,200人</p> <p>⑦その他 40,000人</p> <p>■花火打上げ発数</p> <p>(1) 今年度実績 5,000発</p>
------	--

自己評価等	事業は計画どおりできましたか	1 できた	2 概ねできた	3 あまりできなかった	4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	1 できた	2 概ねできた	3 あまりできなかった	4 ほとんどできなかった
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	<p>コロナ禍による、協賛金の減少、補助金の減額に加え、コロナ対策として会場の分散や物価・人件費高騰など支出面の負担が大きくなることが予想されることから、実行委員会においても収支の見直しを図るが、令和5年度以降、補助金額の見直しを検討いただきたい。</p>			

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。

補助金等成果報告書

補助金等名	べっぷクリスマスファンタジア2022		
団体等名	冬の祭典実行委員会		
事業費	33,213,247円	補助金額	13,500,000円

事業の内容	(実施した事業内容を記入してください。)		
	1. クリスマスソングを歌う会		
	2. OAB LIVE STAGE		
	3. シンクロ花火		

成果目標	(「成果目標設定書」の内容を記入してください。)		
	1. 来場者数	100,000人	※2日間
	2. 花火打上げ発数	約5,000発	／1日

事業効果	(事業実施の結果、どのような成果や効果があったかを記入してください。)		
	<p>コロナ禍でのイベントの在り方として、来場者へ基本的な感染対策の徹底をお願いするとともに、火の海まつり同様、会場を分散しそれぞれの会場に特色を持たせることで来場者を分散することができた。</p> <p>12月24日は、クリスマス寒波の影響に伴う九州管内の高速道路が通行止めとなったことも影響し、各会場とも思ったように人出が集まらなかった。</p> <p>翌25日は、前日に比べ人出は増えたが、コロナ前に比べると少ない様子だった。</p> <p>火の海同様、感染対策を講じて実施したが、コロナ禍の影響は人出だけでなく、協賛金収入の減少や会場分散に伴う費用負担の増加、原材料の高騰等大きく影響を受けた。</p> <p>令和5年度では、行事内容や費用の見直しを図るとともに、収入確保の面も改善できるように実行委員会で協議したい。</p> <p>■来場者数 51,983人 ※印は2日間合計</p> <p>①北浜公園 5,000人※</p> <p>②北浜緑地帯 1,983人※</p> <p>③スパビーチ 45,000人※</p> <p>■花火打上げ発数</p> <p>今年度打上発数を1日5000発としていたが、コロナ禍の影響により協賛企業の減少や会場分散による費用負担の増加、原材料の高騰等、様々な要因から花火の数量は1日当たり約3,500発となった。</p>		

自己評価等	事業は計画どおりできましたか	1 できた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 2 概ねできた
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	1 できた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 2 概ねできた
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	コロナ禍による、協賛金の減少、補助金の減額に加え、コロナ対策として会場の分散や物価・人件費高騰など支出面の負担が大きくなることが予想されることから、実行委員会においても収支の見直しを図るが、令和5年度以降、補助金額の見直しを検討いただきたい。

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。

補助金等成果報告書

補助金等名	油屋熊八翁顕彰会		
団体等名	油屋熊八翁顕彰会		
事業費	426,530 円	補助金額	369,000 円

事業の内容	<p>① 第 6 4 回油屋熊八翁碑前祭 実施日 令和 4 年 1 月 1 日 (火) 9 : 3 0 ~ 熊八翁の遺徳を偲ぶ油屋熊八翁碑前祭を毎年 1 月 1 日に実施。 別府公園西門記念碑前にて神事を行い、顕彰会会長 (別府市長) をはじめ、 別府市の観光関係者、大分県や由布市の観光関係者、翁出身地である宇和島市から 岡原市長を始め関係者等約 50 名が参列した。今年も岳星会の方が奉納吟を行った。</p> <p>② 油屋熊八翁記念碑正月参拝 実施日 令和 5 年 1 月 4 日 (水) 1 2 : 0 0 ~ 顕彰会会長を始め別府市役所の関係者で参拝を行った。</p> <p>③ 油屋熊八翁命日祭実施日 令和 5 年 3 月 2 7 日 (火) 9 : 3 0 熊八翁の命日である 3 月 2 7 日に関係者ととともに命日祭を行った。</p>
-------	---

成果目標	<p>① 油屋熊八翁碑前祭 参加者目標 100 名</p> <p>② 油屋熊八翁命日祭 参加者目標 30 名</p>
------	--

事業効果	<p>① 油屋熊八翁碑前祭 来賓、関係者、市民の方を含め約 5 0 名の参加</p> <p>② 油屋熊八翁記念碑正月参拝 関係者のみの参拝とした</p> <p>③ 油屋熊八翁命日祭 来賓、関係者、市民の方を含め約 3 0 名の参加</p>														
自己評価等	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">事業は計画どおりできましたか</td> <td style="width: 10%;">1 できた</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">②</td> <td style="width: 10%;">概ねできた</td> <td style="width: 10%;">3 あまりできなかった</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%;">ほとんどできなかった</td> </tr> <tr> <td>事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか</td> <td>1 できた</td> <td style="text-align: center;">②</td> <td>概ねできた</td> <td>3 あまりできなかった</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td>ほとんどできなかった</td> </tr> </table>	事業は計画どおりできましたか	1 できた	②	概ねできた	3 あまりできなかった	4	ほとんどできなかった	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	1 できた	②	概ねできた	3 あまりできなかった	4	ほとんどできなかった
事業は計画どおりできましたか	1 できた	②	概ねできた	3 あまりできなかった	4	ほとんどできなかった									
事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	1 できた	②	概ねできた	3 あまりできなかった	4	ほとんどできなかった									

	<p>その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等</p>	<p>【評価する点】</p> <p>・別府観光の為に尽力した油屋熊八翁の遺徳を偲ぶために例年開催している。毎年県内外から多くの方々に集まっていただけるのは油屋熊八翁の人徳だと考える。今後も、熊八翁の功績を称えるとともに、「旅人をねんごろにせよ」というおもてなしの精神を市民に継承し、観光地としての価値を高めることを目的として、継続していきたい。</p> <p>【改善点】</p> <p>油屋熊八翁の功績をさらに広める為、関係者による学生に向けた講座の開催などの取り組みを検討していきたい。</p>
--	---------------------------------	--

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。

様式第 2 号

補助金等成果報告書

補助金等名	令和 4 年度別府市旅館ホテル組合連合会運営事業補助金		
団体等名	別府市旅館ホテル組合連合会		
事業費	28,237,906 円	補助金額	6,210,000 円

事業の内容

新型コロナウイルス感染症の感染拡大から3年が経過し、毎年のように感染の波が繰り返されることで、長期的な状況となった。22年当初にも、感染力の強いオミクロン株の拡大から「まん延防止等重点措置」が適用され、7月には第7波、冬季から年末には第8波と感染の流行を繰り返す中、コロナ対策による宿泊業のガイドラインは段階的に改訂され、感染予防対策と社会経済活動の両立に追われる年となった。

3年振りに行動制限が解除となる中、GW期間中の対前年比は65.2%増、お盆期間も52.6%増（ともに市観光課調査）となり、旅割（当時）の継続から一定の効果が見られたと同時に、様々な場面において、コロナ対応の制度見直しも進み「ポストコロナ」の時代へと変化してきた事で、祭りやイベントなども通常開催に向けた動きも出てきた。

このような中、長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた観光地がポストコロナの反転攻勢につなげるため、観光庁では地域一体となった面的な観光地再生・高付加価値化について、改修事業等を強力に支援する制度が公募され、B-biz LINKと連携し、補助額1億（補助率1/2）を上限とする宿泊施設の大規模改修支援制度の採択を受けることが出来た。

10月には、Go Toトラベルに変わる観光支援策として、九州内および隣接県を対象としていた旅割制度を拡大する形で「全国旅行支援」がスタートすることで、年末に向け大きな喚起策となった。更には、段階的な水際対策を講じていた訪日客についても、個人旅行（インバウンド）解禁による大幅な規制緩和により、急速な回復傾向となることで、国内外からの旅行需要回復へ向けた底上げとなった。全国旅行支援の開始により、別府市で開設していたPCR検査センター（旧山の手中学校）も開設期間の延長と同時に、割引を利用される市民や観光客を対象に抗原検査結果通知書の発行も開始された。

23年には、割引を縮小しながらも全国旅行支援が再開し、当初3月末までとされていた期間も7月20日まで延長、マスクの着用も3月13日から、個人の判断に委ねることになったことで、事務局ではその

都度、情報提供に努めた。

一方で、原油や電気代などエネルギー価格の高騰や食材等仕入れコストの高騰も深刻となり、経営環境を懸念する中で、長期的な問題となっている“人手不足”もコロナ禍で加速し、食事・サービス提供の限界から販売制限や客室の一部売り止めなども見受けられた。引き続き、外国人材を活用した「特定技能制度」や「技能実習制度」などの活用、デジタル化による業務の効率化に向け、業界全体として課題解決に取り組みたい。

また近年、別府の資源である“温泉”の湯量減少や、温度の低下等も懸念されていることから、定期的なエビデンスを蓄積していくため、別府市が取り組んでいる「せーのではかろう！」との連携や源泉の定点観測にも着手し始めたことから、温泉資源を次世代に継承するための事業も加速していきたい。

■ 関係機関との連携による取り組み

温泉の効果を医学的に検証する「免疫力日本一宣言プロジェクト」では、令和3年の中間報告から、新たに100名の実験データを得る事が出来た。計140人の方々に泉質の異なる温泉に一週間入浴をして頂き、入浴前後の腸内細菌叢をゲノム解析し、その結果が“別府 ONSEN アカデミア 2022”にて報告された。実験前後の疾病リスクの平均値の差の変化を分析することで、温泉入浴における健康効果を科学的に実証出来たことから、商品造成に向けた取り組みを模索していきたい。

広域的な取り組みとして、佐伯市内の飲食店で利用可能な食事券（@3,000円）を別府市内の宿泊者へ発行する事業として、佐伯市観光協会と「別府から佐伯いこうキャンペーン」を展開した。期間中は、プロジェクターを使用した「寿司ネタリウム」の上映も行い、3,000人を上限とする食事券は、当初の事業期間から1ヶ月前倒して終了することとなった。

1月からは、他地区との差別化を図り、宿泊以外の付加価値と旅行満足度向上を目的に、別府市との連携事業として「別府泊まってぽかぽか もらえて湧くわくキャンペーン」を期間限定で企画し、別府の

	<p>特産品や宿泊補助券を毎月 500 名／月（1500 名上限）にプレゼント（抽選）する内容として、5,000 名を越える応募もあり、一定の効果があつたと考えられる。</p>
--	--

<p>成果 目 標</p>	<p>■ 組合事業の創出と観光地づくりへの取り組み</p> <p>組合事業の事業指針は、「別府市旅館ホテル組合・明礬旅館組合・鉄輪旅館組合・鉄輪やまなみ旅館組合」の力を集結し、別府市と協働した“別府八湯再生”へ積極的に行動展開し、以下を柱に「ウィズコロナ」に向けた事業展開を模索していきたい。</p> <p>第 1 「温泉の豊かさそのものの見直し」</p> <p>第 2 「温泉と健康づくりへの挑戦」</p> <p>第 3 「長期滞在拠点としての地域づくり」</p> <p>第 4 「地域住民とともにつくる観光地づくり」</p> <p>第 5 「おもてなしの心によるソフト面での対応」</p> <p>コロナ禍 3 年目となる中で、感染対策や各諸問題にも柔軟に対応しながら、宿泊業界全体の回復に向け、既存事業のブラッシュアップと新たな独自事業を検討すると同時に、国・県・市の補助金や支援金制度、宿泊キャンペーン等の情報、各種アンケート協力などの情報共有に対しては、デジタルを活用した検討も進め、スピーディな対応を心掛け、会員組織としての在り方をより一層、強化をしていけるような体制を図っていきたい。</p>
-----------------------	--

1-① 宿泊実態調査

令和2年7月のGo Toトラベルキャンペーン開始（令和4年10月から全国旅行支援）により、会員施設を対象に宿泊状況の傾向と動向を把握するため、連合会独自の取り組みとして宿泊調査を行うこととなった。集計データは、調査協力施設へのフィードバックや行政、マスコミ等への対応に活用した。

●当月の実績と翌々月までの予約状況調査実績

調査月	回答数	その他調査内容（抜粋）
令和4年 4月	29	GWの予約実績について
5月	32	
6月	29	8月11日～8月15日（お盆）の傾向
7月	27	8月11日～8月15日（お盆）の傾向
8月	20	8月11日～8月15日（お盆）の実績
9月	20	
10月	26	2019年10月対比による訪日状況
11月	26	年末年始の傾向
12月	26	年末年始の傾向
令和5年 1月	22	2019年1月対比による訪日状況
2月	19	2019年2月対比による訪日状況
3月	13	2019年3月対比による訪日状況

事業効果

1-② 免疫力日本一宣言プロジェクト

「別府市」「九州大学都市研究センター」「別府市旅館ホテル組合連合会」による包括連携協定（令和3年4月30日締結）による取り組みと

して、温泉の効果を医学的に検証し発信するため、連続した温泉入浴体験の前後に、腸内細菌検査を行い、温泉の効果を泉質ごとに検証する取り組みを行った。

(1) 協定概要

- ① 別府の温泉が有する免疫力を高める効果を最先端医療によって科学的に証明すること
- ② 抗がん剤治療における温泉の効果を科学的に証明し、長期療養地のイメージを再構築すること
- ③ 別府での温泉利活用、予防医学及び健康増進に資する取組により、別府を訪れる方々の健康回復を支援すること
- ④ 温泉を活用した健康・医療分野における組織、分野を越えた多様な連携を推進すること
- ⑤ 療養を行いながらのワーケーションを支援すること
- ⑥ 食による健康づくりを支援すること

(2) 実証実験への取り組み

① 実験条件

- ▶ 計5種類の泉質の中から、同じ温泉に7日間入浴
- ▶ 毎日合計20分以上入浴

※5つの泉質＝「塩化物泉・単純温泉・炭酸水素塩泉・硫黄泉・硫酸塩泉」

② 参加者の選定

- ▶ 6泊7日のワーケーションまたは一般参加者
- ▶ 7日間連続の日帰り入浴参加者（入浴のみ）

③ 協力施設／18施設

※ワーケーション受入協力施設には、一人当たり6泊7日の宿泊料金（素泊まり）を設定いただき、別府 ONSEN アカデミア実行委員会から5万円を上限とする助成金を支給した。

(3) 実証実験結果報告

参加者140人の腸内細菌叢をゲノム解析し、その解析結果から温泉入浴の健康効果を科学的に実証し、『別府 ONSEN アカデミア2022』において報告された。

●説明者／九州大学都市研究センター

センター長・主幹教授 馬奈木 俊介 先生

<https://beppu-tourism.com/feature/beppu-onsen-academia2022/>

1－③ 別府泊まってぽかぽか もらえて湧くわくキャンペーン

別府市との連携事業として、キャンペーン期間中に対象となる宿泊施設に宿泊された お客様へ別府の特産物や宿泊補助券をプレゼント（抽選）し、お客様への付加価値を上げることで旅行満足度の向上とリピータ作りに向け事業を行った。

●期間／2023年1月18日～3月31日チェックイン分まで

●抽選／期間中3回の抽選で計1500名を上限（500名／月）

●協力施設／31施設

●応募方法／指定のサイトへアクセスし応募フォームより応募

※応募には、協力施設で応募用IDの入力を必要とした

●応募総数／5,314名

1－④ NHK放送受信料

NHK放送局と宿泊4団体との契約締結によって、「事業所割引」及び「とりまとめ割引」が適用されることで、最大約63%の割引適用となる。さらに、12ヶ月払いにすると、2ヶ月払いに比べ、基本料金の7%以上が割引適用となる他、衛星契約（10台以上）を対象とした施設には「多数一括割引」が適用となる。

新型コロナウイルスの影響による、受信料免除（満1ヶ月以上連続して休業した施設）の手続きを行ったが、例年同様の集金代行業務が実施できたことで、各単位組合に対し活動費としての配賦を行った。

1－⑤ 「風呂の日」の実施

平成11年8月26日のスタートから22年を終え、さまざまな泉質に恵まれた“別府八湯”を広くプロモーションすべく継続事業として実施している。

新型コロナウイルス感染拡大の影響から、事業の一時停止期間もあったが、令和4年12月より再開した。

*利用者総数 195名（前年度43名）

注）令和4年3月～11月までは一時休止

●実施状況

	実施日	大人	子供	利用者合計
第281回	12月26日（月）	20	5	25
第282回	令和5年1月26日 （木）	11		11
第283回	2月26日（日）	45	16	61
第284回	3月26日（日）	71	27	98
合計		147	48	195

※参画施設数18軒（令和5年4月現在）

1-⑥ 別府八湯泉質区別化事業

平成17年の温泉法改正により、温泉の区別化を目的として別府独自の手法で取り組んだ「温泉カルテ」。総務省では、源泉の定期的な分析（10年に1度）を行い、その結果に基づく掲示内容の更新が義務づけられている。平成27年度に更新作業を行ったが、随時、製作申込みについて受け付けを行っている。

※浴槽内の温泉分析（検査センター依頼）とボードの制作費用が発生します

1-⑦ 別府八湯湯けむりライトアップ事業

九州観光機構との連携により、2002年より継続している「湯けむりライトアップ」事業は、鉄輪の湯けむりをライトアップし、夜の別府をお客様に楽しんでいただくことを目的に実施している。

21年には、経年劣化したライトをLEDへ修繕したことにより美しいライトアップを実現。今後も別府夜の風物詩として継続していきたい。

●時間帯：19：00～21：00

●期 間：3月1日～3月31日毎日 その他は 土・日

1-⑧ 別府観光湯～湧く（誘惑）キャンペーン

長引く新型コロナウイルス感染症により影響を受けた「別府観光」の賑わいを取り戻すため、100名を超える観光関連団体のメンバーが一体となり、JR博多駅前にて、誘客キャンペーンを実施した。

●主催団体：別府市・別府商工会議所・別府市観光協会・観光施設連絡協議会・別府市旅館ホテル組合連合会

●協力団体：別府社交飲食協同組合

●実施日時：令和4年6月12日（日）11：00～16：00

●実施場所：JR博多駅前 賑わい交流空間 大屋根イベントスペース

●実施内容

① 特産品 PR・サンプリング

▶無料配布クーポンやチラシ配布

▶特産品 PR ブース販売

② 別府 PR ブース

③ でかガチャ ～ 会場内でLINE登録によりガチャの実施

④ 足湯

⑤ 観光映像放送 ～ PR動画をモニターテレビで放映

⑥ ゆるキャラ

●参加者数：15名（内4名女将の会）

●商品提供：1泊2食ペア宿泊券（15組分）※ガチャの景品として活用

1-⑨ 無料宿泊ペア券

提供月	要請団体	提供内容	内容	本数
6月	別府商工会議所	別府観光湯～湧く キャンペーン	ペア宿泊券 (1泊2食)	13本
10月	別府市役所 観光課	ナニワ区民まつり	〃	1本
		くま博2022	〃	1本

	別府湯けむり健康マラソン 大会実行委員会	同大会抽選会	〃	6本
1月	別府市役所 観光課	さんふらわあ FESTIVAL	ペア宿泊券 (1泊朝食)	2本
		おおいた物産観光フ ェア	〃	3本
2月	別府市役所 観光課	地獄仏たび#キャン ペーン	〃	5本
3月	別府八湯温泉まつり 実行委員会	お楽しみ抽選会	ペア宿泊券 (1泊2食)	3本

計：34本

1-⑩ 別府から佐伯いこうキャンペーン（佐伯市との連携事業）

佐伯市と別府市との地域連携交流に基づき、別府市内の参画施設に宿泊したお客様に「宿泊証明書」を発行することで、佐伯市内の飲食店で利用可能な食事券を発行する連携事業として、2年目の実施を行った。

前回の反省点を活かし、パンフレットに飲食店情報やアクセス時間を記載、宿泊施設には、館内掲示用POPやポスターでの周知を図った。

また、佐伯のプロモーションコンテンツとして、プロジェクターを使用した「寿司ネタリウム（9月22日～11月30日）」を上映した。

【事業内容】

- 実施主体：一般社団法人佐伯市観光協会
- 食事券発行期間／令和4年9月1日～10月29日チェックイン分
- 食事券／3,000円（1,000円×3枚綴り）
- 発行対象者／別府市内の宿泊施設にて宿泊証明書を取得し、佐伯市内の引換場所へ持参した者（ただし、18歳以上（高校生は除く）の佐伯市外在住）。
- 券発行要件／宿泊施設1滞在1人につき1回の発行

【最終実績】

●宿泊施設／29施設（内、8施設にて寿司ネタリウム設置）

●発行枚数／8,787枚（2,929人）

1-⑪ 「みえないおもてなし」寝具を中心としたハウスダスト除去事業

全国初の布製品ハウスダスト除去メンテナンスとして、低価格で安全・安心のケアにより衛生的な寝具をお客様にご利用して頂くように大分県から始まった画期的なメンテナンス。別府・湯布院を中心とし、40施設以上にて導入をしている。

●布団1組 布団1組 約30円/日

●ベッド1台 約38円/日

1-⑫ その他

(1) 公給領収書の販売

大分県内の組合員施設を対象として、公給領収書の販売をしている。販売価格は、1冊350円（税込）。

<令和4年度販売冊数> 300冊

2. 国・大分県との協働事業

2-① 新しいおおいの旅割

県民対象から隣接県・九州ブロックへと割引対象地域が拡大すると同時に、ワクチン・検査パッケージの取り扱いも変更となった。実施期間も延長が続き、10月からは対象地域も全国へと拡大された。

23年以降、割引率が縮小されたものの当初3月末までであった実施期間は7月まで延長された。

実施期間	～R4.10.10	R4.10.11～	R5.1.10～
対象地域	九州（7県） 山口・愛媛	全国	全国
割引率	50%	40%	20%

割引 上限率	最大 2,000 円 * 令和 2 年度 7 月豪雨被災 温泉地には最大 4,000 円	平日：最大 3,000 円 休日：最大 1,000 円	平日：最大 2,000 円 休日：最大 1,000 円 ※電子対応
クーポン	@2,000 円×泊数分	平日：最大 3,000 円 休日：最大 1,000 円	平日：最大 2,000 円 休日：最大 1,000 円 ※電子対応
利用方法	宿泊施設への直接予約、旅行代理店、OTA		
割引条件	ワクチン 3 回接種済又は陰性の検査結果通知書		

2-② 民泊問題

平成 30 年 6 月に「住宅宿泊事業法（民泊新法）」施行され 5 年が経過した。民泊（住宅宿泊）事業者には届出を義務付け、年間提供日数は 180 日を上限とし、都道府県を窓口申請受付をしている。大分県では、家主や事業者業務改善命令や業務停止命令など、行政指導を行うと同時に、健全運営化に向けた取り組みを行っているが、施行後、日数に上限のない簡易宿所に変更している事業所も出てきている。

●大分県届出件数／66 軒（令和 5 年 4 月 20 現在）＜参考＞前年度 59 軒

2-③ おんせん県観光誘致協議会

社員の制服（夏用）として、おんせん県ポロシャツを一着 2,800 円（税込・送料別）にて管理・販売を行った。

●お申込から約 2 週間で納品（送料のみ着払い）

3. 別府市との協働（連携）事業

3-① 別府 OTA 地域版：OTA サイト

B-biz LINK が主体となり、別府市独自の OTA サイトが 5 月 26 日に開

設となった。

別府をリブランディング（温泉情緒溢れる情景）するというコンセプトのもと、宿の魅力を最大限にお客様にお伝えすることを目的としたデザインとし、管理画面や各種サイトコントローラーとも連結することにより、施設が利用しやすい仕様になるよう計画している。

（現在は、TL リンカーン並びにらく通との連結は可能となっている。）

また、販売手数料として得た利益については再度、別府観光の為、旅館ホテルの為に還元・活用するという円環型の事業となっている。参画施設は 27 軒（4 月現在）だが、会員施設への周知と新規参画施設の申込を継続していきたい。

※申し込みは、旅館組合事務局までお問い合わせください。

●サイト URL : <https://www.yunotabi.jp/>

3-② 入湯税の超過税分の使途に関する審議会

入湯税の超過課税による財源の使途について別府市では、「別府のみらい検討会議」から「入湯税引上げ部分の使途に関する提言」を受け、入湯税引上げ部分を観光の振興に有効活用していくための具体的な使途案づくり、事業実施後の評価等を担うことを目的に審議会が設置された。

超過課税分使途については、“5つの柱”により審議会で議論を行い、最終的な答申として、温泉の保護に関する事業を行いつつ、基幹産業である観光を推進することで市全体が活性化し、かつ市民の福祉の増進が図れるなど好循環が作りだされ、次世代へ引き継がれることを期待すると提言した。

① 温泉資源の保護・確保

- ▶せーので測ろう別府温泉一斉調査 ▶地下水の現状調査
- ▶共同温泉改修等補助金

② 観光客の快適性確保（ストレスフリー）

- ▶お宿予約サイト構築プロモーション事業

③ 観光客の安全・安心の確保

▶別府インターナショナルプラザ組織強化

▶駅前情報発信 Café 維持管理・運營業務

④ 観光客を増加させるための事業推進

▶別府版 DM0 機能充実のための新規人材の雇用 ▶観光マーケット
一育成事業

▶海外旅行会社とのネットワーク構築（ランドオペレーター）事
業

▶既存資源の磨き上げによる新規アクティビティ開発事業

⑤ 観光客の受入体制の充実

・トイレ整備費及び除草作業等景観維持費用

3-③ 湯のまち別府ふるさと応援寄付金事業

平成 27 年 4 月より「湯のまち別府ふるさと応援寄付金」寄贈品として宿泊補助券の発券を開始。旅館ホテル組合として、返礼品を送るだけではなく、別府に来て頂き利用できる券として観光客増に繋げていきたいと考えている。

令和 4 年度は前年度より、寄付額が増加し、宿泊補助券の注文も例年に比べ増加している。

また、寄付額による商品のバリエーションを増やし、寄付者が自分に合った商品を選びやすいように改良をした。

（具体的には 100 万・50 万・30 万・10 万・5 万・1 万の商品）

●補助券券種 15,000 円券 10,000 円券 6,000 円券 3,000
円券（4 種類）

●参画施設 58 軒（4 月現在）

●寄付額（全体） 7 億 9500 万円（約 18,000 件）

3-④ バスクリン 日本の名湯別府 入浴剤販売事業

株式会社バスクリンと共同企画をした「日本の名湯別府オリジナル入浴剤」。別府のご当地土産品として旅館ホテル、APU 生協ショップ等で販売中。

令和 2 年より、全国でも「日本の名湯シリーズ」として販売されてお

り、別府温泉 PR の一つにもなっている。

本年度、バスクリンより販売金の一部を寄付として贈呈された。

寄付額合計は 4 月現在で約 150 万となっている。

※入浴剤のお取扱いに関しては旅館組合事務局までご連絡ください。

3-⑤ 別府市PCR検査センター 抗原検査センター併設（山の手中学校）

2021 年 6 月 23 日より、旧山の手中学にて検査センターを開設。

既存の仕様では別府市民向けと観光客向けの検査のみとなっていたが、全国旅行支援をきっかけに課題のひとつであった「検査証明証」の発行が出来るようになった。

これにより、チェックイン時で接種証明などを忘れた宿泊客や事前に陰性が確認できる証明を市内で取得できるようになり、活用できる幅は増えた。

現在は「別府市抗原検査センター」と名称を改め、5 月 7 日まで継続予定となっている。

4. 別府市観光協会との協働事業

4-① 2022 ぐるめっふ

観光協会員の飲食店と地元タウン情報誌「シティ情報おおいた」がオススメする飲食

店を掲載のグルメ情報冊子。

今年度から表紙に「べっぴょん」をレイアウトし、可愛さ、親しみやすさを前面に押し出したデザインに変更。

●規格：A3 サイズ、32 ページ（オールカラー）

●発行日：2022. 3. 31

●発行部数：15,000 部 ※年度半ばに 30,000 部増刷

●配布箇所：市内旅館ホテル、観光案内所、バスセンター、ドライブイン、他県への観光宣伝、ビーコンプラザ等で開催される大会等に配布使用。

4-② 各種イベントへの協力

- ・別府八湯温泉まつり（湯・ぶっかけまつり）への参加
- ・べっふ火の海まつり開催に伴う、警備スタッフの協力
- ・別府クリスマスファンタジア開催に伴う、警備スタッフの協力
- ・マーチングカーニバル in 別府開催に伴う、警備スタッフの協力

4-③ MARCHING CARNIVAL IN BEPPU 2022～別府をマーチングの聖地に～

2022年10月30日にビーコンプラザ主催で開催された「マーチング・カーニバル in 別府」。別府をマーチングの聖地とすることを目的に、コロナ禍ではあったが開催することが出来た。

チーム数16と多くのプレイヤーに参加していただき、その内、ゲスト出演として京都橘高等学校・精華女子高等学・大牟田高等学校など、実力のある有名なチームも参加したこともあって多くのお客様で賑わった。

当組合としても実行委員会として当日スタッフとして参加した。

5. NPO法人ハットウ・オンパク

5-① 別府八湯温泉本事業

別府八湯の魅力をさまざまな角度から捉え凝縮させたガイドブック「別府八湯温泉本」は、新型コロナウイルスの影響により制作保留（20年以降）となっていたが、ポストコロナを踏まえた掲載内容として、3年振りに改訂版を発行。

今号限定の企画として、「温泉本スタンプ帖」で温泉道名人を申請した方には、特別認定タオルが取得できる。

※特別認定タオルの申請期日／令和5年11月30日まで

●発行日／令和4年11月25日

【参画（掲載）への協力内容】

▶入湯料半額券（2枚）～通常の入湯料金から1枚につき1名、半

	<p>額料金の協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶温泉道の協力～入浴後のスタンプ押印 ▶宿泊限定～宿泊者のみスタンプ押印 <p>5－② 別府八湯温泉道</p> <p>(1) 温泉道加盟の温泉に入り入湯スタンプを集め、8湯分のスタンプ毎に段位を上げていく別府ならではの温泉スタンプラリーを企画運営。別府八湯の愛好者を増やすとともに、リピーターを含め観光客を誘致することに寄与しました。観光客・初心者向けに2つの入湯印で行える初級認定も行った。</p> <p>(2) 前年度の温泉道名人を対象とした名人カード交付式は強風の影響で中止となったため、交付式の動画を撮影し、名人限定でYouTubeにて公開した。</p> <p>(3) 2022年11月25日、3年ぶりに温泉本を発行。温泉本にスタンプ帖を付け期間中に名人を申請した方に赤い名人タオルで特別名人認定ができるようにした。</p> <p>また、コロナ禍での発行となったため宿泊限定の施設も参画となった</p> <p>●温泉道名人認定者数(延べ人数): 10,795人(令和5年4月24日現在)</p>
--	--

自己評価等	事業は計画どおりできましたか	1 できた <input type="checkbox"/> 2 概ねできた <input checked="" type="checkbox"/> 3 あまりできなかった <input type="checkbox"/> 4 ほとんどできなかった <input type="checkbox"/>
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	1 できた <input type="checkbox"/> 2 概ねできた <input checked="" type="checkbox"/> 3 あまりできなかった <input type="checkbox"/> 4 ほとんどできなかった <input type="checkbox"/>
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	新型コロナウイルスによる影響を受けた別府観光に対する経済活動、観光事業の積極的な推進と旅館ホテル団体での活動と協同

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。

補助金等成果報告書

補助金等名	令和 4 年度別府市ユニバーサルツーリズム推進事業		
団体等名	NPO 法人自立支援センターおおいた		
事業費	4,321,880 円	補助金額	4,321,880 円

事業 の 内 容	(実施した事業内容を記入してください。)
	①別府市ユニバーサルツーリズム強化フォーラム
	②別府市ユニバーサルツーリズムモニターツアー
	③別府市ユニバーサルツーリズム接遇研修
	④別府市観光情報調査・更新
	⑤別府市の各施設を対象としたバリアフリーカルテ作成
	⑥別府市ユニバーサルツーリズム福祉用具レンタル

成 果 目 標	(「成果目標設定書」の内容を記入してください。)
	①ユニバーサルツーリズムに対する認識の向上
	②高齢者や障がい者等への理解と受け入れ態勢の強化
	③心のバリアフリーの向上
	④観光情報の厚みの向上
	⑤観光集客の増加

事業効果

(事業実施の結果、どのような成果や効果があったかを記入してください。)

①別府市ユニバーサルツーリズム強化フォーラム

【成果や効果等】

- ・参加人数：(会場) 135名・(オンライン) 50名
- ・今回のフォーラム開催した事により、講演を通して高齢者や障がい者等への理解と受け入れ態勢の強化が図れたと考える。また別府市長をはじめ、行政・観光関連事業者や一般参加者等、様々な方にユニバーサルツーリズムに対する認識の促進が進んだと考える。

②別府市ユニバーサルツーリズムモニターツアー

【成果や効果等】

- ・今回のモデルツアーを通じて、今後の課題等を把握する事ができた。またツアー実施により、観光施設を実際に訪れた事で高齢者や障がい者等への理解と受け入れ態勢の強化が図れた。参加頂いた方に、別府観光の魅力や市民の親切感に触れて頂き、魅力を十分、堪能頂き、再来の御約束の御言葉や多くの方に伝えたい旨の御言葉を頂いた。この事から、今後の観光集客につながると考える。

③別府市ユニバーサルツーリズム接遇研修

【成果や効果等】

- ・実施回数：3回(参加人数：53名)
- ・今回の研修を通じて、高齢者・障害者への理解や接遇について理解が促進し、心のバリアフリー向上に繋がった。また参加者より「障害を持たれた方に対し、どのように接すれば正解なのかなど考え直す良い機会となった」等の感想を頂き、非常に前向きな印象を持って頂いた事で、今後の対応等に関して、これまで以上に向上すると確信する事が出来た。

④別府市観光情報調査・更新

【成果や効果等】

- ・実施回数：15施設
- ・今回の調査事業を通して、新たにできた施設等を調査した事により、観光情報の厚みが増した。また調査当日の対応や調査中において、比較的多くの施設がユニバーサルツーリズムやバリアフリー・ユニバーサルデザインに関して、非常に興味を持っている事が分かり、調査後に施設内を改修した事例も存在した事は大きな成果であると考ええる。

⑤別府市の各施設を対象としたバリアフリーカルテ作成

【成果や効果等】

- ・実施回数：7施設
- ・今回、調査を行った7施設においては、協力的に事業をさせて頂きました。その中でも、カルテを提出させて頂いた施設が、施設の改修や改修を前提に動き出して頂いた事もあり、今後の高齢者や障がい者等への理解と受け入れ態勢の強化に繋がったと感じる。

⑥別府市ユニバーサルツーリズム福祉用具レンタル

【成果や効果等】

- ・今事業に関しましては、令和4年12月よりスタートという事から、今後の更なる広報が必要であると考ええる。今年度においては、令和5年1月は貸出が0件であったが、2月には台数も若干の伸びがある事から、需要としては今後、レンタル数は伸びると考えると共に、現地で車椅子等のレンタルが出来る事により、観光意欲が向上する事により、観光集客につながると考える。

自己評価等	事業は計画どおりできましたか	1 できた 3 あまりできなかった	○2 概ねできた 4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	○1 できた 3 あまりできなかった	2 概ねできた 4 ほとんどできなかった

	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	・今年度（令和4年4月～令和5年3月）の相談等問合せ件数が103件で昨年・一昨年を大きく上回った。
--	--------------------------	---

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。